

# まがな



秋田市手をつなぐ育成会  
会報 第31号

平成 29年 8月 31日 発行

〒010-0922  
秋田市旭北栄町 1-5 秋田県社会福祉会館  
秋田県手をつなぐ育成会 内  
018-864-2718

## 全国社会就労センター協議会 の全国大会に参加して



会長 田中 勉

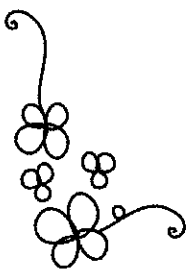
7月23・24日の本県における大雨は、私の人生の中でも経験のないもので、その被害も甚大なものであります。目が経つにつれ、更にその被害は大きなものになるのではと心配しております。実は、私の家の裏は猿田川が流れており、朝3時過ぎからずつと川を眺めておりましたが、自然の力の脅威を痛感いたしました。幸い、ぎりぎりのところで被害は免れましたが、周辺の道路は冠水し、床上浸水の被害も出ておりました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、先般、全国社会就労センター協議会の総合研究大会という大会に参加してきました。この団体は、SELPといわれる団体で就労系の施設・事業所が全国で一七〇〇加入する団体ですが、どんな協議会なのかを知りたくて、勉強しに行ってきました。

まず、驚いたのは、行政説明を現職の厚労省の障害福祉課長がしていたことです。約1時間にわたり、約100ページの資料を駆け足で説明されましたが、多分、自治体の障害福祉の担当者でも持っていない広範囲を網羅した内容の資料でした。主な内容は、この業界にとつては最大の関心事であろう平成30年のサービス報酬改定の話やA型事業所の見直し、就労移行が進まない就労移行事業所の話、低い工賃の話が出ておりました。その中で、私が、一番関心を持ったのは、共生型サービス事業所の話です。これは、高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくするため、介護保険と障害福祉両方の制度に新たに共生型サービスを位置付けるもので、平成30年の介護報酬と障害福祉サービス報酬改定時に検討することになったそうです。今のところ対象は、ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイとなっており、まだまだ不十分ですが、知的障がい者が高齢になった場合の新たな道筋が少し見えてきたように思っています。その後、シンポジウムがありました。ここでも厚労省の元障害保健福祉部長が出席しており、東南アジアの障がい者福祉を専門に研究している大学教授や障害者の権利擁護に詳しい弁

護士など話も非常に新鮮で内容の濃いシンポジウムでした。

このような全国大会に参加すると手をつなぐ育成会の全国大会とどうしても比べてしまいますが、最も重要な事は、何の目的で会を開くのかを明確にすることだと思えます。今回の全国社会就労センター協議会は事業者の集まりであり、ある程度向いている方向は似通っている団体ですから、育成会と大きく違ふと思えます。しかし、育成会としても本来の会の目的、そして全国大会を開く目的をもっと深く考える必要があると思えます。前例を重視することも必要ですが、是非、厚労省の現職課長や元部長などを呼んで行政の当事者から直接説明を聞けるような会になるべきです。専門の知識を持った人の話を聞いて会としての実力をつけていくことも必要な事だと思えます。そして、いつかは、きつちりと「物申す団体」に成長していくべきと痛感いたしました。





# 先進地施設視察研修会

開催日：平成29年 7月 14日(金)  
 視察先：社会福祉法人 秋田福祉協会

指定障害者支援施設 小又の里  
 指定障害福祉サービス事業

げんきハウス 下新城  
 参加者 37名

とてもいい天気、真夏日。今年の先進地視察は、秋田市上新城の小又の里と下新城のげんきハウスを見学させていただきました。

## 小又の里

——利用者が主人公——  
 自分らしく生きること……

小又の里は、障がいを持った方々が日々の生活を送るための「指定障害者支援施設」です。

自分に合った作業や活動に参加しながら、仲間たちと一緒に、自分らしい生活を送っています。

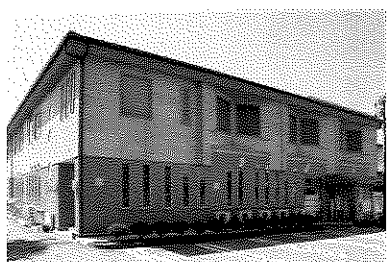
個々の個性や能力に応じた支援を行い、共に生きる喜び、楽しみを得られるよう積極的な支援を行っています。

- 定員は、就労継続支援B型 18名
- 施設入所支援 50名
- 生活介護事業 42名
- グループホームほっと 男子5名
- シヨートステイ 4名



## げんきハウス下新城

げんきハウスは秋田県秋田市金足地区に精神障害者入所授産施設及び精神障害者通所授産施設として平成15年2月に開設されました。

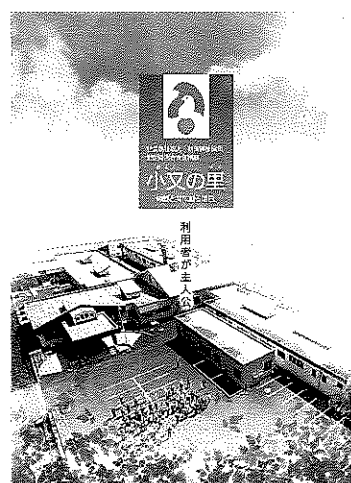


赤い屋根の入口が売店「ル・パン」です。地元の方々にも焼きだてパンが人気！

平成18年4月に制定された障害者自立支援法により、通所部門は平成19年4月、入所部門は平成20年4月にそれぞれ新法事業に移行しています。げんきハウス金足は共同生活介護・短期入所、げんきハウス下新城は就労移行支援・就労継続支援Bのサービス事業をしています。

利用者が自立した日常生活または、社会生活を営むことができるように、就労の機会を提供することも、生活活動やその他の活動の機会を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うことを目的としています。

提供する作業種目は、売店・洗濯・印刷・木工・染色・縫製・農業・園芸など多種多様です。売店「ル・パン」では、「ニコニコ工房」追分で製造したパンの販売作業も行っています。



保護者会の意見によりリニューアルされた小又の里は、すべて個別の一人部屋となり、入所施設、シヨートステイともに1人6畳ほどの部屋にフローリング・ベッド・エアコン・テレビなどが備え付けられ、特に女子棟は増築されたため、新しく明るくきれいな住み心地が良さそうな印象を受けました。



スヌーズレンルーム…適度な照明と心地良い音楽に自然にリラックスできそう～

特徴的なのがスヌーズレンルームという部屋で、精神的に疲れた利用者さんが、リラックスできるようにと環境を整えた居心地の良さそうな場所が、うらやましい限りでした。

## 津久井やまゆり園事件から1年が過ぎて……

日本中を震撼させた事件から1年が過ぎました。障がい者をめぐっての状況は少しでも良くなったのだろうか？と立ち止まって考えてみれば、最初からいろいろ問題がありました。犯人である植松聖：彼が主張した『重度の障害者は不幸しか生まない、抹消するべきだ』という考えに賛同する人たちも少なからず居た：という事実。障がい者の事を理解していないからなのか？

なぜか犠牲者は匿名であったという事、これは家族の意向という事だが、他の事件・事故ではありえないことで、なぜ今回は匿名だったのだろうか？と疑問を持ってしまいます。犠牲になられた方はAとかBとかではなく、きちんと名前を持った人生を歩んできたはずなのに……

1年が過ぎ、ご遺族の中には写真を提供したり、こんな人生を歩んできたのだ：と話をされる方も出てきたようです。

35才の女性：無惨にも殺されてしまいました。お母さんが癌で亡くなり、やまゆり園に入所する事になったのですが、いつもお父さんに抱っこしてもらったのが大好きで：お父さんは最後の面会日に抱っこしてあげなかつた事をとても悔やんでいます。お父さんも癌なのですが、治療は拒否：早く娘の所へ行って抱っこしてやりたい：とそればかり考えています。——こんなニュースがありました。

少しでも障がい者を囲む環境が良くなりますように……

施設をリニューアルし、設備面での防犯対策の強化も計り、利用者さんの安全確保はできたので、職員の能力向上がこれからの課題である：とは瀬田川理事長のお話：そして、ここにいる人たちを一生面倒見ていくのだ：と仰っていたのがとても力強く頼もしく感じました。



以前は、前もって行事の日程が決められていたため、天候に関係なく、花が咲いていないのに花見：天気が悪くても海：だったのが、現在は利用者第一に考え、花が咲いたら花見、暑い日は海へ：と柔軟に行動できるようにになった：というお話でした。

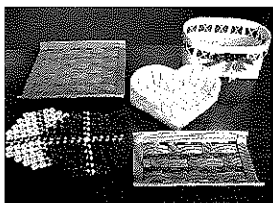
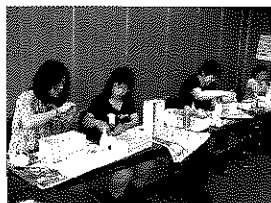
帰際には、自家製の味噌漬けや木工作品のコースターやフォトフレームなどの販売もあり、作業風景も見学させていただきました。



木製コースター

## バザーに向けて……

有志が集まって手芸の小物作りをしています。ものづくりの好きな方、興味のある方はお手伝いお願いできませんか？ 難しいことはやりません一切ったり貼ったり…の誰でもできる作業です～ 手作りの楽しさを味わいましょう～ 連絡先：近藤 まで (090-8785-8436)



## いどばた IDOBATA カフェ



4月はなんびあで、6月はウェスターで集まりました～ 毎回20名位の参加があります。他愛のない話から、今現在悩んでいること…など話題に事欠きません～ 次回は10月です。(場所は未定) 気楽に参加してみませんか～？

連絡先：藤井 (090-1371-7384) まで



『風は生きよという』上映会& トークセッションに参加して



去る7月8日(土)にぎわい交流館AUにて、NAOのたまご主催の上映会とトークセッションが行われました。

映画の出演者の海老原美氏は神奈川県出身、生後1年半で脊髄性筋萎縮症と診断を受け、小学校から大学まで地域の学校に進学。二〇〇一年に「車椅子だってみんなと同じように、いや、それ以上に遅く生きられるのを知ってほしい」との思いから、韓国縦断野宿旅を仲間と行うも、障害が重度化、翌年より人工呼吸器を使い始めます。同年より東京都東大和市で自立生活を開始。また、自立生活センター東大和で障害者の地域生活に関わる権利擁護、相談支援員として働きます。二〇〇九年人工呼吸器ユーザーの地域生活支援のために仲間と「呼ネット」を設立。この映画は、海老原氏の他、筋ジストロフィー患者、ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者、彼ら彼女らが呼吸器やから吹く風に乗り、つながりあうドキュメンタリー映画です。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか?映画が映し出したのは、普通の街で健常者と変わらぬ生活を送る人々。ひと昔前はとつもなく巨大だった呼吸器はいまやお弁当箱サイズに様変わり。散歩も旅行も買物も、ひとり暮らしさえも可能にしてくれる呼吸器からは、休みなく空気が流れてくる。「シュー、シュー」と、まるで風のように。たくさんの方の支援が必要だからこそ、多くの人に出会え、自由に動くことができなからこそ、生きて在り続けることに感動します。海老原氏は語ります・・・「私たち障がい者、できないことがたくさんある中でできる大きい仕事ってというのは、外に出て人目について、人の意識の中に障がい者の存在をちよつとでも根付かせていくこと」と。

上映会後のトークセッションでは、海老原氏と監督の穴戸大裕氏、日本ALS協会秋田支部の安保留氏、障がい者の

自立支援サービスの起業を始めたという菅原睦美氏をお迎えし、映画撮影時の裏話や今までの苦労話、現在の活動についてなど、和やかな雰囲気の中お話を聞くことができました。特に、自らALS患者である安保留氏が、映画の中で紹介された「口(くち)文字」を使い、ヘルパーさんを介して「CIL(Center For Independent Living)の設置について講座があったのですが、直前に入院してしまい、今は自分の生活を安定させていくことが活動の一つだと思っています。」と語ってくださった時間・・・五分ほどかかったでしょうか? まばたきだけで一所懸命私たちに伝えてくださった姿、とても印象的でした。



また、「飲み物を出されても、それを口まで持っていけない。気づいてもらえないといつまでも飲めないんですよ(笑)」「(一同)ですよね〜」のやり取りを聞いて、身体の不自由な人には、こちらに気遣いしないよう、人一倍気遣いしてあげなければ!とも思ったり。・・・自分が同じ障がいを持ったとき、彼女らと同じように前を向いて力強く歩んでゆくことができるだろうか? 重度障がい者の自立をいろいろ側面から知ることができた学びの多い一日となりました。(本田 由香)

読んでみませんか?

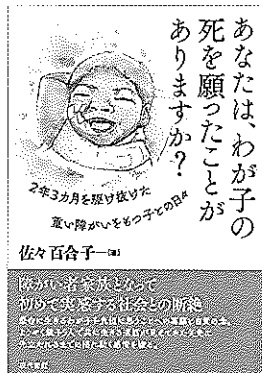


最近、広汎性発達障害やアスペルガー症候群、高機能自閉症などはっきり区別できないことから、区別せず、一つの集合体(スペクトラム)をその人の「特性」として位置付けるようになってきました。

実際に10人に1人が「対人関係が苦手な代わりに強い」自閉症スペクトラムに該当するようです。図解がよくわかる「自閉症スペクトラム」を学んでみませんか?

NAOのたまごとは...

障がい児・障がい者家族をつなぐネットワーク〜秋田で活動している任意団体です。代表は、佐々百合子さん。ご自身のお子さん(尚武くん)が産産時の後遺症で重症心身障害児となり、2歳3ヶ月で生涯を閉じるまでの尚武くんとの関わった大切な時間を、今を生きる障がい児やその家族の笑顔を守ることに使いたい...との思いで立ち上げた団体です。



NAOのたまご代表・佐々百合子さんの著書です。――「この本のタイトル、インパクトがあるとよく言われますが、出版社ではなく、私が付けたものです。

親が、産まれてきた子の死を願うことなく育てていける、そんな世の中になるように、敢えて、このタイトルにしました。そして、障害のある子の子育ての中で感じたマイナスの気持ちも、そしてプラスの気持ちも、ありのままにそのまま綴りました。」(本人談)

渡會有紀さん

(緑光苑)

イラストを描くのがとても得意な有紀さん。緑光苑の中にも飾ってあります。

好きな絵を暗記してそれを自分なりにアレンジして描くのが得意なのだそう。それぞれに説明が書かれていて、その緻密さと丁寧さに驚かされます。



学校部会より

各校の地域交流について〜

栗田支援学校

栗田支援学校では7月22日に、学校と児童生徒について広く知っていただくためのイベント「栗田フェア」―栗田の地域発表とふれあいバザーを秋田駅前小路大屋根下で開催しました。太鼓の演奏や縄文ダンスの発表、作業製品の販売、学校紹介パネルの展示などが行われました。保護者から提供されたバザーの品物や作業製品の購入をお目当てにたくさんの方に来場していただき感謝しています。販売にあたった生徒たちも大活躍でした。



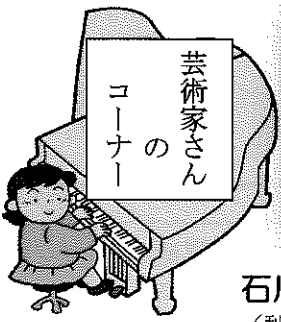
11月4日には、栗田祭があります。学年ごとの学習の成果のステージ発表や作業製品の販売、作業所さんの製品販売もあります。皆様の御来校をお待ちしております。

天王みどりの学園



本校では、お隣の秋田県総合教育センター職員の方と交流をします。センター食堂内で、喫茶「みどりの風」を接客の実演を兼ねて行っています。小学部は他校とゲームやダンス、中学部は近隣施設の清掃活動、高等部はサバ缶作り体験や果樹園での指導を受けたり、老人クラブとの植栽活動などで交流をしています。

また、今年度はPTAチャレンジクラブを10回予定しており、会員同士の親睦を深めたり、子どもに関する情報交換の場として活発に活動しています。

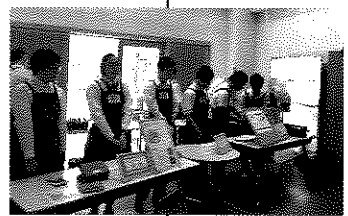


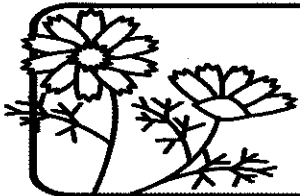
石川康文くん

(秋大附属特別支援学校・中学部3年)

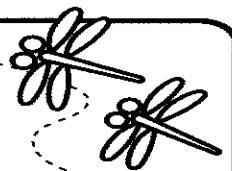
「ピアノを始めて8年目に入りました。始めは大変なことも多かったですが、いまは発表会でもしっかり弾けるくらいまで成長しました。今は、来年3月の発表会に向けてショパンのワルツを頑張っています。これからも細々と長く続けていってほしいです」

(母、石川佳代さんより)





# お知らせ



## 第 4 回 全日本手をつなぐ育成会 全国大会

9月23日～24日  
北海道札幌市

## 第 59 回 手をつなぐ育成会 秋田県大会

9月17日  
大仙市市民会館

## 平成 30 年 新年親睦会(成人式)

新成人の方の情報ありましたら、  
どうかお知らせ下さい。  
皆でお祝いしながら親睦を深めましょう



## 第 3 回 秋田市知的障がい者サポーター養成講座

10月14日(土)  
秋田県社会福祉会館 10F

講師  
いわき明星大学教養学部教授: 福田幸夫先生  
県療育センター副センター長: 澤石由記夫先生  
グリーンローズ理事長: 後藤進先生



—詳細ご案内は後日

## 第 57 回 手をつなぐ育成会 東北ブロック大会

10月21日～22日  
福島県郡山市磐梯熱海温泉



## りんご狩りのお知らせ

10月下旬～11月上旬に予定しています  
遠足気分ぜひご参加下さい

## 秋田県障がい者スポーツ大会

平成29年9月～

## 秋田県障がい者福祉展

秋田県・県障がい者社会参加推進センター主催  
「心いきいき芸術・文化祭」  
平成29年11月21日(火)～22日(水)  
秋田拠点センターアルヴェにて

## バザーのお知らせ

11/21(火)～22(水)

秋田拠点センターアルヴェにて  
上記県障がい者福祉大会の中で行います



例年たくさんの売り上げがあり、売上金は育成会会計へ  
入金頂いております—感謝申し上げます—

\* 手作り品やご自宅に眠っている品物がありましたら  
寄贈をお願いします

連絡先(近藤)090-8785-8436

印刷/社会福祉法人 緑光福祉会

就労継続支援B型 緑光苑



名刺・伝票・封筒・チラシ・ポスター・冊子…  
その他、印刷全般承ります  
～年賀状の印刷もやっています～

## 編 集 後 記

この夏は、例年にない大雨となり被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。

田中会長が市会議員になられて2年が過ぎました。6月21日、定例会での一般質問、トップバッターが田中勉会長…秋田市育成会のメンバーも大勢傍聴に伺いました。こんな事でもなければ、なかなか市議会傍聴の機会もなく、いい経験をさせていただきました。高齢者や障がい者の福祉に関する質問が中心で、市のそれぞれの役職の方の答弁も聞くことができ、いろいろな意味で秋田市の問題にも目を向けていかなければ…!と感じた一日でした。  
(広報部)

